



工業簿記

【第11回】部門別原価計算

経済学部 山根陽一

1

- こんにちは。
- 今日は文化の日の振替休日です。
- 文化祭真っ盛りですが、どこかの学祭には行きましたか？
- さて、今回は原価計算の種類について、
- 費目別計算、個別原価計算、総合原価計算、実際原価計算、標準原価計算、全部原価計算、直接原価計算
- について、お話ししました。
- 今日は、そのなかに入っていなかった部分について見ていきたいと思います。

前回の振り返り

2

- 説明に入っていなかった部分というのは、
- “部門別計算”というテキストでいうとテーマ10,11の部分です。
- まずは、部門別計算とは何かについてからお話していきたいと思います。

部門別計算

3

- 製造間接費の計算について、思い出してください。
- 製造間接費勘定とは、間接材料費、間接労務費、間接経費のいわゆる製造間接費を集計し、何かしらの配賦基準で各製品に製造間接費を割り振るための勘定でした。
- 何の疑問もなく、配賦基準によって割り振ったと思いますが、この方法、少々大雑把過ぎやしないでしょうか？

部門別計算

4

- 製造間接費をひとくくりに一つの基準で配賦するというのは、正確性に欠けます。
- そこで登場するのが、“部門別計算”です。
- 動力部門、修繕部門、事務部門という様々な部門は、それぞれに製品との関わり合いが異なるという点に着目して計算をしていきます。
- 製造間接費を製造間接費勘定ではなく、発生した部門に割り振ります。

部門別計算

5

- ちなみに、部門には、製造に直接関わる**製造部門**と製造には直接関わらない**補助部門**があります。
- まずは、発生した製造間接費を部門別に集計します(第1次集計)。
- 次に、補助部門の部門費を動力消費量や修繕作業時間、事務部門の従業員数などによって、製造部門に配賦します(第2次集計)。

部門別計算

6

- 最後に、製造部門に集計された部門費を各製造部門ごとに作業時間等をもとに製品に配賦します。
- いかがでしょうか？
- 製造間接費勘定に一緒くたに集計して、一つの配賦基準で割り振るよりも、正確だと思いませんか。
- では、計算方法について、詳しく見ていきましょう。

部門別計算

7

1. 第1次集計

- 各部門費を集計します。(資料P1)

2. 第2次集計

- 補助部門費を製造部門へ配賦します。
- 直接配賦法(資料P2)
- 相互配賦法(資料P3)

3. 製造部門費を製品に配賦します。

部門別計算

- 第2次集計をする際には、自部門には配賦しません。
 - 動力部門は動力部門には配賦しません。
- 補助部門費を製造部門のみに配賦します。
 - 動力部門は修繕部門には配賦しません。

直接配賦法

- 補助部門費を製造部門と補助部門に配賦します。
 - この場合も自部門には配賦しません。
- 2回目の配賦は、直接配賦法で配賦します。
 - つまり、補助部門費は補助部門へは配賦しません。

相互配賦法

10